

令和5年度都市基盤整備事業推進大会

特別講演

豊かな『15分都市』の実現を目指して

たにぐち まもる

谷口 守

筑波大学 システム情報系社会工学域 教授

【講演概要】

コロナ禍やテレワーク普及の経験を経て、今世界の都市では住まいから徒歩X分以内で必要な生活サービスが得られるx-minute cityの実現が目指されています。その典型例である『15分都市』の紹介と、これからの持続可能で豊かな国土・都市整備のあり方についてお話しします。



【プロフィール】

工学博士

1989年京都大学大学院単位取得退学後、京都大学工学部助手、カリフォルニア大学バークレイ校客員研究員、ノルウェー王立都市地域研究所文部省在外研究員、岡山大学環境理工学部助教授・教授などを経て現職
文部科学大臣表彰（科学技術賞）、都市計画学会石川賞受賞

国際住宅・都市計画連合（IFHP）元日本代表理事
社会資本整備審議会 都市計画・歴史的風土分科会 分科会長
新たな都市交通調査体系のあり方に関する検討会 座長
東京都市圏総合都市交通体系調査技術検討会 委員長
公益社団法人 日本交通計画協会 代表理事

- 入門都市計画（第二版）／森北出版（2023年）[地域学会著作賞受賞]
- 世界のコンパクトシティ／学芸出版社（2019年）
- 実践 地域・まちづくりワーク／森北出版（2018年）
- 生き物から学ぶまちづくり／コロナ社（2018年）[不動産学会著作賞受賞]